

◆ 2020 年度 活動 報告 シ ー ト ◆

団体名：さいたま市立土呂中学校科学部

23A-20

代表者：校長 富田 敦

URL : toro-j.saitama-city.ed.jp/

1. 活動が必要とされた状況

付近を流れている芝川は周りの自然環境に大きな影響を与えており、その水質がどのような状態にあり、問題点はあるのかを知る必要があった。

また、付近にあるビオトープは、生物がほとんど生息しておらず近寄りやすい場所となっていた。そのため、ビオトープの水質にはどのような問題があるのかを調べ、その問題点を改善させる必要があった。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ・水質調査 時期：4月～5月 参加人数：9人
芝川やビオトープの水質を、パックテストなどの器具を用いて調べた。
- ・掻い掘り 時期：6月 参加人数：9人
ビオトープの水をポンプを用いて吸い上げ、底にたまっていたヘドロを外に出した。
- ・水質改善 時期：7月～9月 参加人数：9人
ポンプや噴水などを用いて水を循環させたり水をかき混ぜたりすることにより、水に含まれる酸素の量を増やした。

水質調査の様子



掻い掘りの様子



使用したポンプの様子



3. 活動の成果

水質調査によって、付近を流れる芝川の水質には大きな問題はないが、ビオトープの水質はとても悪いことが分かった。

また、掻い掘りでヘドロをできるだけ取り除いたことによって、ヘドロによる水質への影響を最小限に抑えることができた。

そして、ポンプを用いた水に含まれる酸素の量の増加などによって、ビオトープの水質を改善させることができた。

4. 今後に残された課題

芝川の水質の現状を知ることができたため、それらをもとにして周りの環境を保護するための活動を行っていくべきだと感じた。また、ビオトープの水質はある程度改善したが、生物はまだ生息していないため、生物の生息できる環境を作り持続させていく必要があると感じた。